

進路だより 第4号

令和5年11月29日発行
石川県立小松特別支援学校
進路支援課



第23回アビリンピック石川大会（10/22 高等部生徒3名）

15歳以上の障害者が技能を互いに競い合い、職業能力の向上と障害者に対する理解を深め、その雇用促進を図るために開催されています。

アビリンピック石川大会が金沢市のポリテクセンター石川で行われ、高等部生徒3名が
出場しました。

ワードプロセッサ（支援学校部門）

第三位：新谷奏樹さん

努力賞：坂口翔さん、田中颯さん

おめでとうございます！



アビリンピック石川大会では、以下の競技が行われています。

ワード・プロセッサ

（支援学校部門）指示された課題に対して2種類の文書を作成し、正確さと速さを競います。



（一般）和文文書と英文文書を作成し、自由に使いこなせる技術と正確さと速さを競います。

データ入力

アンケート入力と帳票作成、作成された文書の誤字修正の3つの課題を

通して、正確さと速さを競います。



オフィスアシスタント

オフィス文書発送の一連作業（ピッキング、文書の封入など）の正確さ、作業数を競います。

ビルクリーニング

模擬的な事務所スペースで、床面掃き、拭き、机上拭き掃除の作業を行い、機材の適切な取り扱い確実な清掃技術等を競います。



喫茶サービス

模擬的な喫茶スペースで、お客様に対して案内、注文取り、提供、後片付け等接客サービスを競います。



6つの競技のうち、ワードプロセッサ支援学校部門以外の5つの競技の優勝者は、
来年秋に愛知県で開かれる全国大会に出場します。



後期産業現場実習（10/17～11/2 高等部）

高等部では3週間にわたり、後期産業現場実習を行っています。卒業後の進路決定につながる大切な実習になりました。

生活の中で公共交通機関を使って外出する経験や、家庭の中で日々の継続したお手伝いの積み重ねが、職業選択の幅を広げることに繋がります。



シーツ交換

タオルをたたむ作業や仕分けをする仕事をがんばりました。

立ち仕事は疲れたけどがんばりました。

介護施設で実習を行い、各部屋のシーツ交換の仕事をしました。正確さとスピードを意識してできました。



タオルたたみ

職場見学（10/26 高等部）



高等部1年生は2グループに分かれて、卒業生が働く会社や事業所を見学しました。

働く先輩の姿をみたり、先輩に質問したりしました。

【Aグループ】ジェイ・バス 小松市串町工業団地 ／ 矢田野ファクトリー 小松市矢田野町



仕事をする上で大変な事や大切な事を教えてもらいました。たくさんの部署があり、仕事内容もたくさんあることに驚きました。



一日に何百枚もタオルや衣類を畳んでいて、すごく大変だと分かりました。

【Bグループ】三草二木西圓寺 小松市野田町 ／ 松寿園ドレミ 小松市向本折町



コーヒー仕分けやジムなどの施設を見学しました。



箱折りやクッキー作りと部品の袋詰めなどの作業をわかりやすく説明してくれました。

☆将来の豊かな社会生活を目指し、どんなことに興味があり、どんな仕事・活動に向いているのか、卒業後の生活をイメージしながら学校と家庭で理解していくことが大切です。
進路に関することは、担任を通して進路支援課までお気軽に問い合わせください。



石川県立小松特別支援学校 TEL:0761-41-1215(藤田・宮下)